

<b>ヘキサコナゾール水和剤</b> <b>アンビルフロアブル</b>	<b>取扱メーカー：</b> 協友アグリ、サンケイ*、住友化学  <b>原体メーカー：</b> シンジェンタ
<b>成分：</b> ヘキサコナゾール〔エルゴステロール生合成阻害剤 PRTR・2種〕……………2.0%	<b>性状：</b> 類白色水和性粘稠懸濁液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

●広範囲の植物病原菌に活性を示す。特にりんごの斑点落葉病、黒星病、赤星病、なしの黒星病、赤星病、かきのうどんこ病を始め、ももの黒星病、灰星病、おうとうの灰星病、ばらのうどんこ病、きくの白さび病など子の菌類、担子菌類、不完全菌類などの糸状菌に対して優れた殺菌効果がある。

●果樹及び花きの病害に対して10～20ppm(2%製剤で1000倍～2000倍希釈の散布)の極めて低濃度で高い効果を発揮する。

●予防効果と治療効果を兼ねし、病原菌が侵入した後の散布でも病斑の拡大・まん延・胞子の形成を阻害する。

●茎葉に散布された薬剤は速やかに吸収され浸透して、植物体内を移行する。降雨による影響を受けにくく、まきムラによる発病や葉表面での発病を防ぐ。

●他剤耐性菌に対しても優れた効果を示す。

●フロアブル製剤で水に溶け易く、散布液の調製が容易であり、また収穫物の汚れが少ない。

●ボルドー液とも混用できる。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

●予防効果と治療効果を有するので、従来のような予防効果を主体とした薬剤のように、散布間隔を短くした連続散布の必要がない。

●りんご；黒星病に対しては開花直前～落花直後に散布する。予防・治療両効果が効率よく発揮され、初期の斑点落葉病・赤星病・うどんこ病の同時防除ができる。

●なし；黒星病に対しては、りんぼう脱落期から開花期、落花直後にかけての果実への第一次感染期の散布が有効。治療効果があるので降雨後の散布でも有効である。赤星病との同時防除ができる。

●かき；うどんこ病に対しては、新葉展開期～幼果期、8月下旬～9月上旬に散布。

●もも；灰星病に対しては、開花期の花腐れ防止又は収穫前日までの果実腐敗防止に散布する。

●おうとう；灰星病に対しては開花期の花腐れ防止及び収穫7日前までの果実腐敗防止に散布する。

●きく、ばら；治療効果を有するので発病初期の散布でもまん延を防ぐことができる。

●ばらに使用する場合、収穫期の散布では、汚れを生じるおそれがあるので留意する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

●適用作物(りんご)の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

●眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びヘキサコナゾール を含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	斑点落葉病 モニリヤ病 褐斑病	1000 倍	200～700 ℓ	7 日前まで	3 回以内	散布
	なし	赤星病 黒星病 うどんこ病				
		輪紋病				
もも ネクタリン	灰星病 黒星病					
かき	うどんこ病	1000～ 2000 倍		7 日前まで		
おうとう	灰星病	1000 倍	150～300 ℓ	前日まで	2 回以内	
すもも						
あんず					前日まで	
いちじく	さび病			1000 倍	150～300 ℓ	
きく	白さび病 うどんこ病					
花き類・観葉植物 (ばら, きくを除く)	うどんこ病					
ばら		1000～ 2000 倍				
やなぎ	葉さび病 炭疽病	1000 倍	200～700 ℓ	発病初期	7 回以内	
ぼけ	赤星病 炭疽病					
せいようきんしばい	さび病 炭疽病					
樹木類 (やなぎ, ぼけ, せいようきんし ばいを除く)	炭疽病					